

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	善光寺白馬電鉄株式会社					
代表者名	氏名	松本 清	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市中御所一丁目20番1号					
主たる事業の分類	大分類	H 運輸業、郵便業				
	中分類	44 道路貨物運送業				
主たる事業の概要	一般貨物自動車運送事業、倉庫業					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	132.55	130.24	140.97		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	248.25	243.92	263.87		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	138		141		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022 年度～	2022 年度
報告対象年度	2022	年度			

3 計画書（報告書）の公表方法等

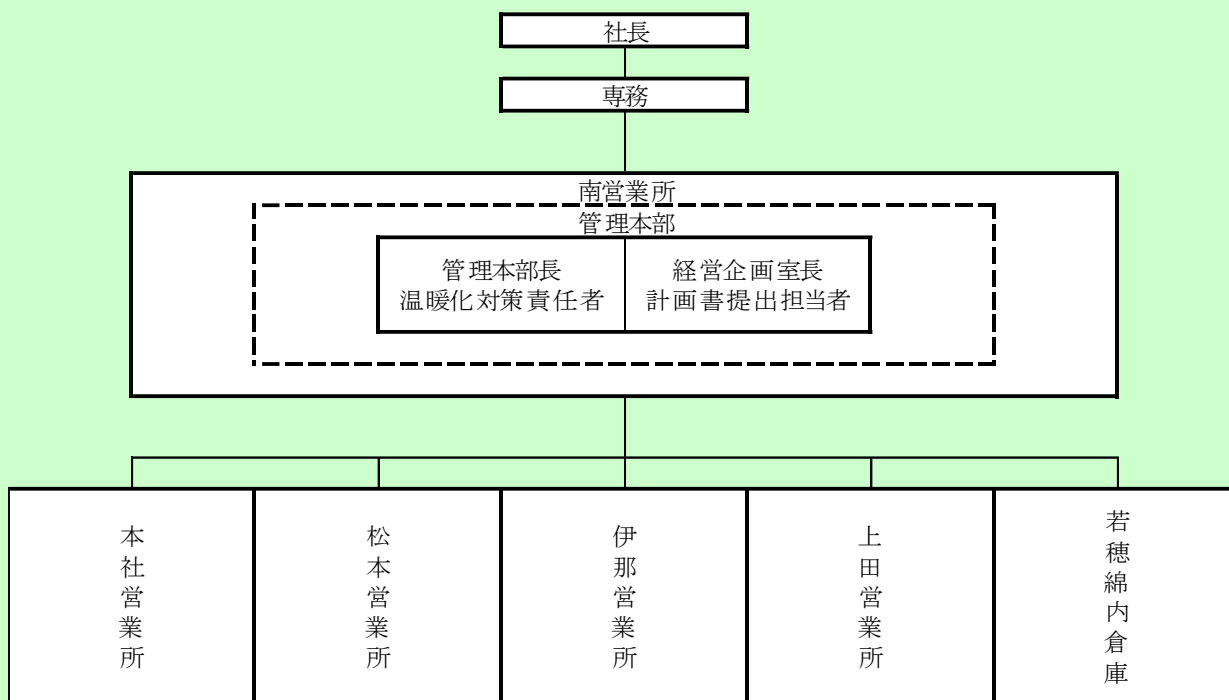
<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧可能場所：善光寺白馬電鉄株式会社南営業所 閲覧可能時間：9：00～17：00 担当部署：管理本部 連絡先：026-283-4773
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギーの効率的な活用、エコドライブの徹底により温室効果ガス削減を目指す。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

善光寺白馬電鉄株式会社 温暖化対策組織図



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

管理職経営会議（会議中に管理本部より自動車燃料や電気の使用量・コストについて説明し、温室効果ガス排出抑制のための取り組みについて参加者全員で検討している。）
年間4回（4月、7月、10月、12月）開催している。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	248.25	t-CO ₂	売上高	22.80	単位	億円
2021年度	調整後排出量	248.25	t-CO ₂	基準原単位	10.89	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量	243.92	t-CO ₂	目標原単位	10.47	t-CO ₂ /	億円
2022年度	目標削減率	1.74	%	目標削減率	3.86	%	
目標設定に関する説明	倉庫の水銀灯照明設備のLED化、倉庫の照明のこまめな消灯により、エネルギー起源二酸化炭素の排出量を、基準年に対し1.74%以上削減する。また、原単位としては、3.86%以上削減する。 ※誤って外部供給量を含んで算定していたため、再算定し基準年度の数値を修正した。						
第一年度	排出量	264	t-CO ₂	売上高	23.20	単位	億円
	削減率	-6.30	%	原単位	11.37	t-CO ₂ /	億円
2022年度	調整後排出量	263.87	t-CO ₂	原単位削減率	-4.41	%	
	削減率	-6.30	%				
排出量等の増減理由	倉庫の水銀灯照明設備のLED化、倉庫の照明のこまめな消灯に取り組んだが、昨年よりも荷物の仕分け作業の受注が大幅に増え、作業場と電灯やエアコンの電気使用量が大幅に増えてしまったため。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
—年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
—年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	150201	倉庫のLED照明器具を導入する。	2022	3.970416	2022	3.970416
2	エネ起	150204	倉庫の照明器具をこまめに消灯する	2022	0.353718	2022	0.353718
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	200	0	200		

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	5	248.25	5	263.87				
合計	5	248.25	5	263.87				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	2	2		
その他 (ハイブリッド等)	1	1		
合計	3	3	0	0
自動車総数	138	141		
次世代車導入割合	2.2	2.1		

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	JR貨物のコンテナを運べるトラックを所有しており、省エネに貢献するためトラックから鉄道へのモーダルシフトに取り組んでいる。行き先の近い貨物については、一台のトラックでまとめて効率的に配送するようにしている。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<p>①社内の事務用品等を購入する際は、レジ袋を辞退するのはもちろんのこと、包装が簡略化されたものを選んでいく。</p> <p>②トラックのエコドライブ（早めのギアチェンジやアイドリングストップ等）の指導をしている。</p> <p>③最大需要電力の目標を設定し、超過しないよう心がけている。</p> <p>④排気ガスの出ないバッテリー式のフォークリフトを導入している。</p>
--